

えぼっく

めいかー

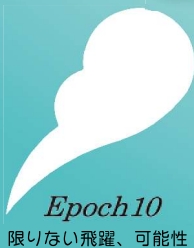
EPOCH MAKER

届かなかった声を届ける



Contents

- ◆届かなかった声を受け止め声をつなげる／高際区長就任・すずらんスマイルプロジェクト
- ◆届かなかった声を形に！社会を変える／多様な性自認・性的指向
- ◆届かなかった声に耳を傾けよう／男性の生きづらさ
- ◆エポック 10 事業紹介／エポック 10 情報



届かなかった声を受け止め声をつなげる

高際区長が就任しました



＼ 区長にインタビュー！ ／

令和5年4月23日の豊島区長選挙にて、高際みゆき区長が就任しました。区民の目線に立って思いを受け止めることが大事であるとお話されている区長に、特に力を入れていることや区民の方へのメッセージを頂きました。

たかぎわ
高際 みゆき 区長

令和2年4月豊島区副区長、令和5年4月豊島区長に就任
家族は夫と猫2匹
趣味は一人旅（アジア、秘境が大好き）、読書、映画鑑賞



令和5年4月に区長に就任され1年が経とうとしていますが、大切にしていることはどのようなことでしょうか。



区長

お一人おひとりの目線に立って、子どもや若者、女性など、これまで区政とつながりづらかった人の思いを受け止めることの大切さを改めて感じました。その取り組みのひとつとして、子どもレターや区民による事業提案制度、区民の皆さんと共に語り合う「未来としまミーティング」をはじめました。行政に伝えたいことがあるものの、まだ届いていない声、受け取れていない声にこそ目配りし、しっかりと受け止める豊島区でありたいと思います。

副区長時代に立ち上げた、**すずらんスマイルプロジェクト**について教えてください。

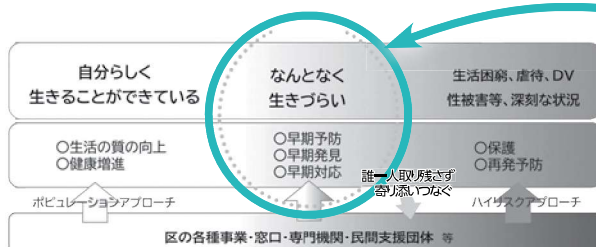


区長

コロナ禍で顕在化した、生きづらさを抱えた若年女性を支援するため、令和3年1月に立ち上げました。若年女性に本区の施策が届くよう、当事者に近い若手女性職員の自由な意見や発想を取り入れ、自治体初となる生理用品の無償配布や、当事者目線のホームページ作成など、スピード感をもって、組織横断的に取り組んでいます。

すずらんスマイルプロジェクトのアプローチ

支援の手が届きにくい、生きづらさを感じる若年女性を確かな支援につなげ、抱える問題の早期予防や早期発見・対応を目指します。



- ・ 苦しみの原因が何であるか表現しづらい
- ・ 「さみしい」「つらい」「居場所がない」「眠れない」…等の悩みがある
- ・ 支援の手が届きづらい



区長

特に若年女性は「自分が我慢すればいい」と考えがちで、行政に対して高いハードルを感じていることが多いので、民間支援団体や大学、企業等と連携し、当事者に寄り添った支援策を積極的に実施しています。



出張まちなか保健室

さみしい、どこにも居場所がないと思っている10代20代のためのほっと一息つく居場所です。ゆっくり過ごしたり、のんびりリフレッシュしたりヨガをしたりしています。

区内学校・大学、民間企業・支援団体との連携



大学生との協働企画 としま自分の日

大学生を始めとした若い世代を巻き込んだの当事者目線の情報発信や若年女性応援イベント等の企画を実施しました。

各種イベントでの周知・啓発活動

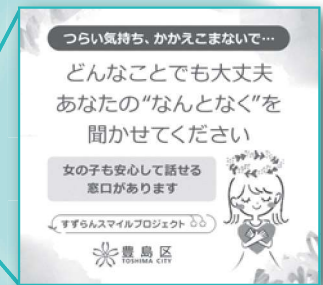
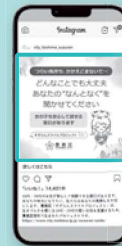


池袋ハロウィンフェスティバル



児童虐待防止月間・DV防止週間啓発ツリー

SNSやYouTubeを活用した情報発信



ターゲティング広告

地域で支援

としま街なかすずらんサポーター制度スタート

すずらんスマイルプロジェクトの趣旨にご賛同いただいた方がサポーターとなって、豊島区とともに若年女性支援の輪を広げていく取り組みです。



サポーター登録証



サポーター募集中です
詳しくはこちら



ホームページ



インスタグラム



メッセージ動画

最後にメッセージをお願いします。



区長

まちづくりに対する区民の皆さんの想いの強さ、意識の高さを、区長就任後に改めて感じています。私の姿勢の根底にあるのは、「“ひと”が主役のまちづくり」です。このまちに暮らし、働き、活動する「ひと」を主役に、みんなで「としまの未来」を切り拓いていきたい。人と人を、人と区政を、そして、これまでの経験を豊かな未来へ、しっかりとつなげていきます。誰も孤立させない、寄り添い合える豊島区としていくため、地域の皆さまとともに、区政を力強く推進してまいります。

区長、ありがとうございました。



届かなかった声を形に！社会を変える

豊島区では、ご自身では上げづらい多様な性自認・性的指向の人々の声を施策に結びつけるため、当事者平成30年2月に、多様な性自認・性的指向に関する理解を深め、当事者に対する適切な配慮・対応にまた、平成31年4月にはパートナーシップ制度をスタートし、令和5年度、5周年を迎えます。

当事者の声…

- ・パートナーが入院しても、付き添いができない
- ・災害時、家族として対応してもらえるのか不安
- ・親にも、先生にも、友達にも、理解してもらえないかもしれない
- ・将来の生き方が見つけられなくて落ち込んでしまう etc…



豊島区内の支援団体

多様な性自認・性的指向の人々が過ごしやすい社会にするために、届かなかった声を届け、社会を変える活動をしている団体をご紹介します。

特定非営利活動法人 レインボーとしまの会

豊島区でのLGBTs/SOGI 施策を進めていくことを目的とし、10～70代の当事者とAllyで勉強会や交流会を実施しています。区政に働きかけ、当事者や支援者を地域・区民とつなぎ、誰ひとり取り残さない暮らしやすいまちづくりに貢献しています。



共同代表理事
和田 えりかさん・小吹 文紀さん

地域には、多様な人々がいます。様々な“かぞくのカタチ”の理解促進に努めています。

アイリスとしまの会

性的マイノリティの人々に対する差別のない社会の実現に向け、広報・周知活動、現状と課題の洗い出し、機関・組織等へ働きかけ等を行い、すべての区民の多様性や人権が尊重される社会の実現に寄与していく団体



代表 須藤 啓光さん

パートナーシップ制度のさらなるアップデートのために意見を述べています。

豊島区では、パートナーシップ制度の届出により、利用できるサービスがあります。

詳細情報はこちら→



多様な性自認・性的指向^(※) 基礎知識

● SOGI (ソジ)

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) の頭文字をとった略称で、性のあり方についての総称

● カミングアウト

今まで明かしていなかった自分の性的指向・性自認について、他の人に打ち明けること

当事者はとても勇気を出して話しています。カミングアウトされたら、相手の気持ちを真摯かつ肯定的に受け止めることが大切です。

● アウティング

性的指向・性自認について本人の許可なく、第三者に暴露することたとえ善意であっても、アウティングは重大な人権侵害です。本人の了承なしに性的指向・性自認を伝えないう、十分に注意しましょう。

(※) 豊島区におけるセクシュアルマイノリティの総称

詳細情報はこちら→



対応指針はこちら→



わたしも
Allyに

アライ
Allyとは
理解者・支援者
のことです

TOSHIMA

豊島区では、一人ひとりが誰かのために Ally になることで、すべての人が生きやすい社会の第一歩を踏み出そうと「わたしも、Allyに」というキャッチフレーズとロゴをつくりました。

者支援団体とも連携しながら取り組んできました。
役立てられるよう「多様な性自認・性的指向に関する対応指針」を策定しました。



かみや ゆういち
神谷 悠一 さん

一般社団法人性的指向および性自認等により困難を抱えている当事者等に対する法整備のための全国連合会（通称：LGBT 法連合会）理事・事務局長
豊島区男女共同参画苦情処理委員
「多様な性自認・性的指向に関する対応指針」監修



パートナーシップ制度5周年おめでとうございます。

この5年間の中では、私も男女共同参画苦情処理委員の一人として参画いたしました。区の職員、教職員の福利厚生制度の見直しを議論させていただいたことが、まず思い出されます。

当時はまだ先例の少なかったこの福利厚生制度見直しについて、他の苦情処理委員の先生方の熱心なご議論、そして担当職員のみなさまのサポートにより、結果として、豊島区から関連する議論をリードする形になったと思います。これは、東京都や他の基礎自治体に大きな影響を与えたと捉えています。

このように、この5年間は、パートナーシップ制度そのものはもとより、これに関連づけて、各種休暇制度、手当、あるいは民間事業者の提供する各種サービスのありようなど、広く社会的な議論が行われたものと思います。

これらの議論されてきた各種制度は、豊島区男女共同参画推進条例をはじめとする、法の下での平等を定めた法規に照らし、本来平等であるべきだが、想定されてこなかったために選択できない等の実態を、回復していく道のりであったように思います。

ひいては、本来描くことができるはずであった、さまざまな生活の形、幸せのありように、一つひとつ光を灯し、可視化し、一人ひとりが展望可能な形にしてきた5年間であったと言ってもよいのではないのでしょうか。

筆者の周囲でも、普段から特段に制度的な関心が強かったわけではないカップルたちが、当然の

選択肢として、パートナーシップ制度によって関係を結んだり、家を購入する際にカップルでローンを組む、といった光景が見られたりするようになってきました。そのような声をふいに聞かたび、むしろどちらかといえば制度を構想する側の一員であった私自身が、社会の変化に驚き、少しだけ温かな心持ちとなったことを覚えています。

これからの5年間は、さらに関連制度の議論が広範囲でなされるとともに、より一層こういったことが「当たり前」になり、特別なこととして意識することも減っていくのではないのでしょうか。それは、より多くの人にとって多様な選択肢が見える、実際に選択できる、人生がより良い方向に変わっていくことにつながるのだと捉えています。

この時、男女共同参画についての先人たちの他の取り組みと同じように、なぜパートナーシップ制度が導入されたのかについて、その足跡や意義、努力が忘れ去られるようなことがないよう、可視化する取り組みも、どこかの時点で豊島区には期待したいと思います。

一方、苦情処理委員として対応した事案の中には、残念ながら本人の同意のない性自認又は性的指向の公表（アウトティング）に関連した案件があったことも思い出されます。未来を展望する中であっても、まずは残存する足元の差別の払拭に向けて、区、そして区民のみなさまに対し、一層の条例の趣旨実現へのご理解、ご協力をお願いし、ともに平等な豊島区を創る一步を踏み出すため、私も微力ながら尽くしていきたいと考えています。

パートナーシップ制度5周年を記念し、2つの事業を実施しました。

「～わたしも^{アライ}Allyに～講演と映画で学ぶ性の多様性」



ムラタマリエさん
『Veils』プロデューサー



もりやま のりたか
森山 至貴さん
(早稲田大学文学学術院准教授)

令和5年11月25日(土)午後1時20分～3時半

◆第1部 森山 至貴さん 講演

基礎知識として「LGBTQ」という言葉の意味するものなどの講義後、アメリカの同性婚推進運動などの歴史と背景、婚姻にまつわる当事者の具体的なニーズ、「婚姻の平等」など、同性婚とパートナーシップ制度との関係と課題について掘り下げてお話しいただきました。

◆第2部 短編映画『Veils (ベール)』上映、トーク

女性同士のカップルが結婚写真を撮るまでの日常を丁寧に追った短編映画を上映後、ムラタさんから当事者と共に制作した映画への思いと背景が語られ、森山さんから様々な視点で質問と感想が述べられました。

【参加者の声】

- ・「婚姻の平等」という言葉が印象に残りました。法的、制度的に認められるだけでなく、社会的に平等に差別なく扱われたいという気持ちを知り、日常的に差別を感じて傷ついている方がいるのだと思いました。
- ・「映画制作からたった2年でも社会は変わったので、考え続けていく。止まらないこと。」に同感です。最近、だんな、彼女、等とは言わず『パートナー』というようにしています。また、「Asexual」^{*1}の方もいるかもしれないと思い、恋愛の話は自分の中ではNGにしています。 ※1「Asexual」(アセクシュアル): 無性愛者

にじいろ★カフェ in としま

令和5年11月～令和6年3月
(各月1回土曜日、合計5回開催)

オンライン

(初回、最終回は対面あり)

多様な性自認・性的指向の方やそうかもしれない、自身の性のあり方にモヤモヤを感じる方を対象に交流会を開催しました。



令和6年7月より

LGBTQ 専門相談

ダイヤルを
新設します!

届かなかった声に耳を傾けよう

「男性なら負けてはいけない」「男性は人前で泣いてはいけない」といったジェンダーバイアスに無意識のうちにとらわれていませんか。“強さ”を期待されがちな男性の生きづらさの声は、表に出しづらく、悩みを相談したり、人に弱音をはいたりすることができず、苦しみを一人で抱え込んでしまう傾向があります。

男性の生き方を狭め、息苦しいものにしないためにも、誰もが、性別ではなくその人らしさを大切にして、一人ひとりが尊重されるジェンダー平等社会をみんなでめざしていきましょう。

国際男性デー等の
詳細はこちら



男性向け講座 「迷えるぼくらの悩みをよみとく」



令和5年11月17日(金)午後7時～8時45分

オンライン

講師：西井 開さん (千葉大学社会科学研究院特別研究員、臨床心理士・公認心理師)

11月19日の国際男性デーに合わせて、男性限定のオンライン講座を開催しました。男性として感じる息苦しさや生きづらさの背景や構造、苦悩から抜け出すための実践について、当事者グループで男性たちと語り合ってきた講師とともに考えました。参加者からは「今まで何も考えずに生きてきたが、生きづらさには理由やそうなる構造があったのだと今日理解できた。」「自分がこれまで持っていた考え方や常識を今一度客観的に考えてみようと思うきっかけになった。」などの感想が寄せられました。

男女平等推進センター(エポック10)では、男性(性自認が男性の方)対象の講座や、男性学などの図書の貸出を行っていますのでぜひご利用ください。

令和6年7月より男性専門相談ダイヤルを新設します!

LGBTQ 専門相談ダイヤルと男性専門相談ダイヤルの詳細が決まり次第、区の広報やホームページ等で周知します。

作家柚木麻子さんが語る ～次世代につなぎたいもの～

令和6年2月17日(土)

午後2時～4時

講師：柚木 麻子さん (作家)

平成14年2月15日、区議会の全会一致決議に基づき、区民一人ひとりの人権が性別などの違いにかかわらず尊重され、その人らしく暮らしていけるまちを実現するために、豊島区は「男女共同参画都市宣言」を行いました。

今年度はシスターフッドの物語やエッセイなどで読者を元気にする、柚木さんをお招きして講演会を開催しました。

定員80名のところ、100名を超えるお申し込みがあり大盛況でした。



ジェンダー問題についてわかりやすく何が問題なのかを定義してくださり、考えるきっかけをいただき、まだ日本は声をあげにくい社会であるということがわかりました。

林芙美子さんらの話がわかりやすく、女性は聖人でないと映像化されないという内容が興味深かったです。



社会的弱者と呼ばれる人たちの権利を守ろうとする意識は、様々な細かいことの積み重ねで達成されてきた貴重なものであるということが改めて実感できました。

区民企画運営講座

花&おしゃべりで 自分をいやす ～ジェンダーカフェ～

令和6年2月3日(土) 午後2時～4時

講師：中島 満香さん

(人と街をつなぐコミュニティ花屋 komatokamo 店長)

公募による3名の区民企画運営委員と豊島区が協力して企画した講座です。

ドライフラワーで小さな花束の壁飾りを作りながら、日ごろ抱いているジェンダーのもやもやについて参加者同士シェアしました。

日頃の思いを実践につなげたいと思いました



対話が大事

思いをはき出せて良かった

「育児カードゲーム『カジークジー』大会」開催



令和6年3月2日(土) 午後2時～3時30分

講師：高木 駿さん

(一般社団法人チーム主夫ラボ代表理事)

次々と襲いかかる家事・育児・仕事のトラブルを分担しながら解決していく対話型の育児カードゲーム「カジークジー」をご夫婦、カップル、パートナーの方々を対象に開催し、対話の大切さを知るきっかけづくりを行いました。

エポック10 情報

エポック10では、男女共同参画社会の実現に向け、講座、講演会などの開催、情報誌の発行、学習相談、区民や団体の交流の場や機会を提供しています。

多様な性自認・性的指向の方を対象とした相談と男性を対象にした相談を新設します。
また、女性専門相談が充実します。

開始時期	相談内容	拡充内容
7月	NEW LGBTQ 専門相談ダイヤル	月1回
7月	NEW 男性専門相談ダイヤル	月1回
4月	女性専門相談（心理等）	月2回増

性別による差別などでお困りではありませんか？

男女共同参画施策に対する苦情や性別等による差別などの人権侵害について、苦情処理委員（弁護士等）に救済を求めることができます。お気軽にご連絡ください。



ワーク・ライフ・バランス 推進企業認定制度

豊島区では、「仕事と育児・介護の両立」や「働きやすい職場づくり」などのワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む企業の認定を行っています。第15期（令和6年4月～令和9年3月）より、認定期間が1年延長し、3年になります。

表紙紹介

エッセイ漫画の作者 ユキさん

令和2年7月に長年勤めた会社を辞め、専業主夫になる。平成29年に出会ったボコさんとの夫夫（ふうふう）の日常のあれこれをエッセイ漫画「ネオ主夫日記」にてネット発信中

えぼっく・めいかーと講座を企画して 〈区民企画運営委員より一言〉

- ✿ まだまだ日常の中では話にくいジェンダーのこと。ジェンダーについて気軽に話せる場が日常的になり、違和感を口に出せるようになるといいなと思います。（M.O）
- ✿ 『花&おしゃべりで自分をいやす〜ジェンダーカフェ〜』に参加された方のお一人おひとりが、お花でガーランドを作る時間と、お話をする時間の両方を楽しんでいることが伝わり、とてもうれしく思いました。（谷本知子）
- ✿ 区民ならではの企画（ワークショップ）を実現でき、とても楽しかったです。（中島満香）

エポック10で行っている相談

一般相談 03(3980)7830

◆月～土曜日の午前9時～午後5時（正午～午後1時を除く）です。面接相談は、事前にお問い合わせ下さい。

専門相談 03(5952)9501 すべて予約制

◆女性の弁護士・臨床心理士・DV専門カウンセラーが無料で相談に応じます。
DV相談は相談日当日午後7時半まで受付

相談名	曜日	時間
法律	第1金曜日	午後1時30分～4時30分
	第3金曜日	午後6時～9時
こころ	第2水曜日	午後1時30分～4時30分
	第4火曜日	午後6時～9時
D V	第1水曜日	午後6時～9時

※法律・こころ相談は、区内在住・在勤・在学が対象

DV（ドメスティック・バイオレンス）相談

DV専用相談 03(6872)5250

◆月～土曜日の午前9時～午後5時（正午から午後1時を除く）



DV相談
プラス

つなぐ はやく
0120(279)889
◆24時間 受付 (内閣府)



豊島区立男女平等推進センター(エポック10)



としま産業振興プラザ (IKE-Biz) 3階
エポック10



池袋駅西口から徒歩7分、
メトロポリタン口から
徒歩6分

〒171-0021

豊島区西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ3階

TEL: 03(5952)9501 FAX: 03(5391)1015

Eメール: A0029117@city.toshima.lg.jp

◆◆ 開館時間 ◆◆

- ・月～土曜日：午前9時～午後9時
- ・毎月最終月曜日の前日（日曜日）：午前9時～午後5時
- ※毎月最終月曜日・祝日は休館です。

【エポック10メルマガ登録】

豊島区公式ホームページ⇒メルマガジン登録
募集⇒エポックニュース<配信をご希望のかた>
から登録できます。



※本情報誌は発行時点の内容です。